

# まちの話題

あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。  
★役場企画政策課まで（電話72-0332）

## 捜索活動に大きな力

郡猟友会ボランティア活動

1月5日、日野郡猟友会（白石賢一会長）から町へ、行方不明者捜索活動へのボランティア協力の申し出がありました。

これは、町内でも発生している高齢者などの行方不明事案に対して、山について熟知している猟友会員が捜索に参加することで早期発見を目指し、地域に貢献しようとするものです。



みんなで食べるともっとおいしい

## 「にぎやかに」いただきます」

学校給食試食会

1月24日から30日までの「全国学校給食週間」に合わせ、町内の小・中学校で学校給食の試食会が行われました。

全国学校給食週間は、第二次世界大戦終戦後、日本で新しい学校給食が始まったのを記念して制定されたものです。

期間中は、子どもたちにもっと食について関心を持ってもらうため、町内産の野菜などをふんだんに使っ

## 地産地消に取り組む日野町の学校給食

町では、子どもたちに安全でおいしい給食を食べてもらおうと、地産地消に取り組んでいます。

日野米を毎日食べてます

町では、平成17年度からパン給食を廃止、日野町産コシヒカリでの完全米飯給食を行っています

食材は主に県内産を使用

野菜は県内産、町内産が中心。肉や魚も主に国内産を使っています。献立の県内産食材の使用率は、1学期が66%、2学期は74%でした

た献立が並びました。試食会には、町内の教育関係者をはじめ、県職員や食材の生産者など、延べ約60人が参加し、子どもたちと一緒に同じ献立を試食しました。



にぎやかにもちを丸める

## 収穫に感謝して

根雨小学校もちつき大会

根雨小学校の児童が育てたもち米の収穫を祝うもちつき大会が、1月25日に同校体育館で開かれました。

もち米は、校舎隣の学校田で栽培したヒメノモチ。もちにするのが軟らかくよく伸びるのが特長で、児童が保護者や地域の人たちと協力し合い、田植えから稲刈りまで大切に育てたものです。

もちつき大会では、栽培の体験発表などの後、保護者らに手伝ってもらい、「もちをつく感触が面白い」など感想を話しながらもちをつき上げ、雑煮やぜんざいなどにして全員で試食しました。

## 真冬の冷た〜い伝統

奇習行事「ほとほと」

みの・かさ姿の男性たちに水をかけて厄を払う奇習行事「ほとほと」が、1月30日、菅福地区で行われました。これは、地区内の厄年を迎える人のいる家庭を、ほとほと役といわれる地元男性らが縁起物を持って訪れ、家の人から祝儀の品を受け取って帰るところに水をかけると厄が落ちると伝えられているもの。

ほとほと役の男性たちは、今年はず軒の家庭を訪れ、バケツの水を勢いよくかけられていました。

訪問を受けた女性は、「気の毒でしたが厄が落ちると思いい水をかけました。厄落としができてうれしい」と話していました。



帰るところを待ち構え一斉に水を浴びせる

## 寒さこらえて突き

日野川で空手寒げいこ

寒さの中で心身を引き締め、今年一年の精進を誓う、日本少林寺流空手道錬成会館による空手寒げいこが、1月31日に行われました。

今年は、県内のほか関西地区からの会員延べ約50人が参加。山村開発センターで基本の突き・けりなどのけいこなどを行った後、根雨の日野川へ入りました。

当日は暖かかったものの水温は冷たく、参加者は冷たさを吹き飛ばすように声を出しながら拳を突き出していました。

辺りには、この冬の風物詩を撮影しようと各地からカメラマンも駆けつけ、シャッターを切っていました。



大声で気合入れる

## 貴重な伝統の技を後世へ

頭本さんの民具を県立博物館へ寄贈

昨年亡くなった頭本嘉寿雄さん（中菅）が生前手作りしていた、みのやかさ、かこなどが、鳥取県立博物館に寄贈されることになり、2月10日、博物館の学芸員らが頭本さん宅を訪れました。

県立博物館では、現在、木の枝や根、植物のつるや皮などを編んで作られた民具の調査を行っており、その一つとして頭本さんの作品が選ばれました。

当日は、県立博物館学芸員の福代宏さんと、天理大学非常勤講師の森本仙介さんが、頭本さんの妻の敦子さんに、頭本さんが作業していた様



頭本さんの作業場に残されていたみの、かさなどの民具



出来ばえを確かめる福代さん（左）と森本さん（右）

子や、民具・農具などの名前、地元の伝承などについて質問していました。

森本さんは、「頭本さんは、民具のほか、作業場や材料などもそのまま残されています。作品だけでなく、それが作られた場所や環境と一緒に見ていくことは、こうした技術を伝えていくうえでとても貴重なこと。こうした手仕事をこれからも保存していきたい」と話しました。

寄贈された民具は、県立博物館に収蔵・保存され、来年冬ごろに一般に展示される予定です。